

17th ADVENTURE - NOTO FOR FUTURE - NIPPON SCOUT JAMBOREE NEWS

Vol. 5

Set out on a
new Endeavor

新たな試みを



そなえよつねに
ボーイスカウト



大観衆の前で、スカウトのパフォーマンス

- ① 独唱 「You raise me up ～スカウトに勇気と愛を捧ぐ」 東京・練馬第3団
- ② 空手演舞「琉球の風」沖縄
- ③ ギター演奏 & 歌「福笑い」 愛知・名古屋第29団
- ④ 17NSJ フラッグ パフォーマンス 神奈川・横浜地区カラーチーム



第17回日本スカウトジャンボリー閉会式

代表スカウトメッセージ 能登のチカラ未来へ！



挑戦 京都連盟 向日第1団 佐々木信彦

豊かな自然に囲まれた、ここ石川県珠洲市での第17回日本スカウトジャンボリーも終わりの時を迎えようとしています。全国、そして海外から1万3千人が集ったこの大会。大会テーマにあるように、この5日間のキャンプ生活や様々なプログラムは、僕らにとって、まさに、本当に楽しい冒険でした。その冒険一つひとつに対して、自ら目的を持ち、積極的に挑戦することで、毎日が充実したものになりました。この、なにものにも代えられない経験を大きな財産として、自らの成長の糧にしていきたいと思えます。

協力・助け合い・仲間・絆 愛媛県連盟 大洲1団 西原凜

もちろん、楽しいことだけではなく、たくさんの困難も、この5日間にはありました。しかし、どんなときにも、僕たちの隣には仲間がいました。新たに出会った仲間たちと、助け合い、協力することで、どんな壁も乗り越えることができました。その時に感じたお互いの心が通じ合ったという感覚は、一生忘れることが出来ない、僕たちの宝物です。この宝物をくれた仲間たちとともに、この“スカウトの輪”をさらに広げ、よりよい未来を創っていきます。



感謝 鹿児島県連盟 鹿児島18団 森咲陽

大会期間中の生活は、普段の快適な生活とは異なり、不便なことも数多くありました。しかし、その中でも、自ら考え、創意工夫することで、新しい道具や機械に頼ることなく、大自然の中で、いくらでも楽しめることに気付きました。また、大会を運営して下さったスタッフの皆さんを始め、隊指導者のみなさんや両親の存在があるからこそ、楽しいジャンボリーを創り上げることが出来ました。これからは、私たちも、そんな素晴らしい大会を次の世代へ繋げられるよう、日々の生活で、「ちかいとおきて」を実践していきます。

閉会宣言 膳師功野宮長

この5日間、スカウトの皆さんが積極的に様々なプログラムに挑戦したり、友情を確かめ合ったり、新しい発見をしたり、自らが挑戦した結果、素晴らしい感動を味わったのであらうと思えます。更なる鍛錬を積み重ね社会に奉仕できる技能を修得し、さらに後輩スカウトへの指導も期待いたします。またジャンボリーに参加できなかった友達にも楽しさを是非分け与えて頂きたいと思っています。

この自然豊かな美しい珠洲のチカラ未来へ繋ぐこの大会が感動と喜びのうちに終わることが出来ますのは、石川県及び珠洲市の関係者の皆様、その他多くの関係者の皆様の献身的なご支援ご指導のお陰であります。改めて、心からお礼を申し上げ、第17回日本スカウトジャンボリーの閉会を宣言いたします。

*開会宣言に先立ち、西日本豪雨災害の支援として大会期間中実施した募金と、栃木県連盟の事前募金 33,719円、大会ソングCD売上金 344,641円を合わせ、667,702円を被災地の自治体へ送ることが報告されました。



18NSJ 次は東京で会おう！



ハンドオーバーセレモニー

ボーイスカウト日本連盟 100周年に当たる 2022年、記念すべき年に開催する「第18回日本スカウトジャンボリー」の会場が、水野日本連盟副理事長から「東京」と発表された瞬間、会場内はどよめきの渦に包まれ、続けて会場全体に「東京」コールが起きるなど、会場は大いに盛り上がりました。

発表に引き続き、今回の開催地である石川県連盟から、奥島大会長を経て、東京連盟へ、ジャンボリー旗の引き継ぎが行われました。



次期開催地連盟あいさつ 山内直元東京連盟理事長

発表された瞬間のみなさんの盛り上がり、ぐっときました。「ボーイスカウト日本連盟 100周年も兼ねて、ぜひ東京でやりたい」という思いから立候補させていただきました。新しい都市型のジャンボリーになるのではないかと考えております。東京の名所を巡るプログラム、スカウト達が自分を探求できるようなプログラムを考えております。

みなさんの若い力をぜひとりいれて今から準備を進めてまいります。4年後、東京連盟の方々と一緒に、みなさんをおまちしております。



ほくりくアイドル部

日本一おめでとう！ ジャンボリーゲーム日本一表彰式



部門 日本一班名 記録

通信（手旗信号リレー）

BS 5人班	大阪連盟 茨木第1団 ペンギン班	12分58秒
VS 5人班	埼玉県連盟 川口第21団、戸田第1団 ベンチャーバッファロー班	12分45秒
VS 6人班	東京連盟 目黒第1団、7団 紅班	4分28秒
VS 8人班	徳島・香川・高知合同隊 ネコ班	11分20秒

ロープ結び（班旗立て）

BS 5人班	東京連盟 国分寺第1団 タツノオトシゴ班	8.95m
BS 6人班	神奈川連盟 川崎第43団 キツツキ班	9.10m
BS 7人班	静岡県連盟 富士第8団 ワシ班	7.49m
BS 8人班	兵庫連盟 伊丹第2団、3団、10団、 宝塚第1団、2団、川西第6団、 篠山第1団 シロクマ班	8.98m
VS 5人班	静岡県連盟 浜松東第30団 チャー班	8.79m
VS 6人班	兵庫連盟 兵庫第10隊 ホワイトイーグル班	8.86m
VS 7人班	東京連盟 世田谷第14団 シュナウザー班	8.48m
VS 8人班	神奈川連盟 藤沢第18団 カモメ班	7.89m



部門 日本一班名 記録

キャンピング（火起こし）

BS 5人班	神奈川連盟 横浜第3団、第77団 ウォーター班	9分19秒
BS 6人班	大阪連盟 高槻第7団 オオカミ班	4分25秒
BS 7人班	京都連盟 京都第29団、77団、92団 オオカミ班	5分51秒
BS 8人班	奈良県連盟 大和高田第7団 タン班	3分32秒
VS 5人班	東京連盟 品川第6団 ヤマネコ班	5分57秒
VS 6人班	福岡県連盟 粕屋第10団 タスマニアデビル班	6分16秒
VS 7人班	静岡県連盟 掛川第2団 卵かけご班	6分30秒
VS 8人班	東京連盟 練馬第3団、8団 ネコ班	5分19秒

コンパス（コンパスナビゲーション）

BS 5人班	大阪連盟 茨木第2団 オオカミ班	9分30秒
BS 6人班	埼玉県連盟 さいたま第8団 ウグイス班	
BS 7人班	東京連盟 立川3団、4団 ウルフ班	11分25秒
VS 6人班	宮城県連盟 泉第1団、塩釜第1団 おにぎり班	13分29秒
VS 8人班	広島県連盟 広島第1隊 しか班	10分30秒

灯籠山（とろやま）がやってきた

珠洲の勇壮な夏の祭典灯籠山祭で使われる山車灯籠山が、ジャンボリー会場に出現し、8月6日と8日の夜、会場を練り歩きました。市無形民俗文化財にも指定されている灯籠山をぜひ皆さんにも楽しんで頂きたいということで、珠洲市のご協力により、実現しました。

8日には泉谷珠洲市長も参加され、地元の方々と一緒に、ジャンボリー参加者も混じりながら、大きな灯籠山を引きました。太鼓や笛の音に合わせ、掛け声をあげながら引っ張ると、木製の大きな山車がミシミシ音をたて、揺れながら道を進む姿は迫力満点。珠洲の夜空を照らす灯籠山は壮大で、熱気にあふれていました。



Let's try ~珠洲検定~

Q. 珠洲市の無形民俗文化財でもある「灯籠山」。大きなこの山車、高さは約何mでしょうか？

* ジャンボリー会場、入口のゲート付近に置かれていた山車です。大会期間中に実物を目にしたスカウトも多いのではないのでしょうか？

①約11m ②約16m ③約21m ④約26m

発見!! 個性派サイト・快適サイト



県の名産”みかん”をモチーフに、オレンジ色が基調のかわいいゲート（愛媛第2隊）



鳥居型のゲート。手前の竹灯籠は、夜は点灯するそうです（広島第3隊）



渋い落ち着いた色の、のれん式のゲート。思わず立ち寄りたくなる？（滋賀第3隊）



珠洲に現れた「太陽の塔」。夜には目が光るんです！（大阪第8隊）



ミニ東京タワーのような赤い塔の建築作業風景（東京第2隊）



中央に眼鏡橋と浦上天主堂。黄色い帯部分はカステラだそう（長崎第1隊）

迷彩服の正体は？

私たちがここ珠洲の地で、楽しく快適に、安全に活動ができているのは、様々な企業や団体の方々からご協力・ご支援を頂いているおかげでもあります。

このジャンボリーニュースでは毎号、最終面で、スポンサーやオフィシャルサプライヤーとして、大会を支えてくださった12の企業・団体を紹介しています。

しかし、この他にも大会の運営を大きく支えてくださっている方がいます。そのひとつの例ですが、迷彩服を着て様々な作業に当たる姿や、様々な形の緑色の車両を会場内で見かけたことがある参加者は多いのではないのでしょうか？

この方々の正体は、……、陸上自衛隊第10師団所属の皆さんです。愛知県にある守山駐屯地を中心とした東海北陸6県にまたがる組織です。大きなテントの設営や給水車の運用の他、本部食堂脇では炊飯車を稼働して、私たちの生活を支援をしてくださっています。会場内で隊員の皆さんを見かけたら、ぜひ感謝の気持ちを伝えて下さいね。

（ちなみに隊員の皆さんも、会場内でテント生活しているんですよ！）





スカウト通信員 参加スカウトによるジャンボリーレポート

本日、15時頃に西尾10団の見学団が私達愛知28隊のサイトを訪問しました。見学に来たのは西尾10団ボーイ隊の小学生と団指導者の方、ジャンボリー参加者の父兄の皆さんでした。小学生の



ボーイ隊員はジャンボリーの規模に驚きながらも、「次のジャンボリーに自分も参加できるように頑張りたい」と意気込んでいました。見学に来たことによって新たな抱負を持ってくれ、僕はうれしかったです。

愛知28隊 小田耕平

ヴィーナスエリアにはジャンボリースカウトセンターが併設されており、参加各県・各国の文化等についての紹介がされています。インドネシアのブースでは、伝統工芸品の紹介、体験が行われています。鳴りコマの体験コーナーの参加者は互いに回った時間を競い合い、自分のコマが1秒でも長く回るように試行錯誤していました。また、インドネシアの歌を教わったスカウトたちは、慣れない発音に苦戦しつつも、覚えた歌を音楽に合わせてみんなで元気よく歌っていました。「スカウトは快活である」を実感できるジャンボリー的一幕でした。



山形1隊 武田蒼

8月7日の午後から行われた友情ゲームは一人ひとりに文字の書かれたカードが配られ、違うカードを持った人を探しことばを作るゲームです。私は「な」のカードを持っていました。私が最初に出会った人はとても頭が回る人でした。その人は同じ文字2人組を探して、2つ同時に文字列を作ろうとしていました。また、どの文字の人がどこのテントサイトにいるか聞き込みをしたり、旗を使って周りから見えるようにするなど、効率良くゲームを進めていました。このおかげで、30分超ですべての文字をそろえることができました。「そ」「な」「え」「よ」「つ」「ね」「に」とそろった文字を係の人に見せた時に、まだ出会ったばかりの仲間との一体感を感じることができました。友情ゲームはさっきまで名前も知らなかった人とたった30分でまるで昔からの友達のようにになれる、皆とのつながりの橋渡しとなるととても楽しいゲームだと思いました。



埼玉12隊 藤田琉聖



今日は、朝から強い雨が降っていて活動出来るかなあ〜と、思いました。

今回僕の班は、午前アース会場でゴルフを行いました。僕たちは、栃木県の班と戦いました。7ゲームしましたが届かなかったり、通り越

してしまうなどハプニングがしょっちゅう起こりました。それでもみんな必死にゴールを狙いました。最後は戦った栃木県の班と写真を撮り、バッチの交換を行いました。

神奈川13隊 高田廉

エキスカッションプログラムで海上自衛隊の「掃海艇のとじま」に乗船しました。天候には恵まれなかったため船がとても揺れていましたが、普段見ることができない船内を見学することができました。



船内には様々な大きな装備があり、とても迫力がありました。自衛隊の制服も試着させてもらい、自衛官になったような気分になることができました。

宮城2隊 氣田瑚雪

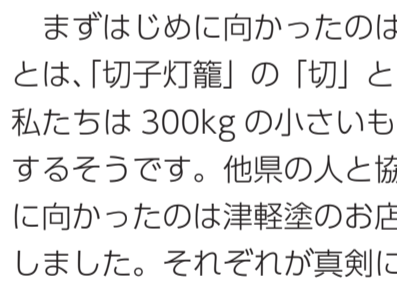


8月7日の午前中にキリスト教の宗教儀礼が行われました。日本ジャンボリーに参加した、世界各国のスカウトが集い、キリストに賛美を捧げました。代表スカウトの祈りや司教様からのお話、祈りがありました。

この日、キリスト教の宗教儀礼に集まったすべての人が、平和などたくさんのことについて考えることができたと思います。最後に宗教章の授与式が行われました。この儀礼を通して、「〜でも」の大切さを学ぶことができました。貧しくても、自分にとって損であったとしても、助け合いの精神で「分かち合う」ということを忘れないで生活していきたいと思います。

茨城2隊 丸山響輝

8月8日火曜日、秋田春夏秋冬班はエキスカッションプログラムで、輪島に行ってきました。バスから見える外の景色は青空が広がり、海がきれいで地平線がはっきりしていました。向かうときには皇太子殿下とすれ違いみんなが手を振っていました。



まずはじめに向かったのは、輪島キリコ会館です。切籠（キリコ）とは、「切子灯籠」の「切」と「籠」をとって組み合わせたものです。私たちは300kgの小さいものを担ぎました。それでも1000万円するそうです。他県の人と協力して、バランスよく歩けました。次に向かったのは津軽塗のお店です。箸に自分なりの模様をデザインしました。それぞれが真剣に考え、思いを込めて製作しました。世界に一つだけの箸ができました。最後に向かったのは、塩を作るところです。塩田と言い、水汲み3年水まき10年と言われるほど難しいそうです。手こずる人もいたものの、みんな楽しく作業していました。

今回輪島を訪れて、たくさん文化に触れ、この石川には、様々な伝統芸能があり、活気のある地域だと知れました。

秋田17隊 叶内歩見
8月8日久しぶりの快晴で、強い風が吹いていました。日本ボーイスカウト連盟副理事長の水野正人さんに来ていただきました。記者会見で「笑顔がとにかく大事」と話されていた水野さんの笑顔が素晴らしかったです。とても分かりやすく楽しそうに話していて聞いているほうも楽しくなりました。



東京6隊 中島拓泰



スカウト通信員 参加スカウトによるジャンボリーレポート



8月6日にアメリカ隊と流しそうめんをして交流を行いました。皆さんうまく麺をキャッチしておいしそうにすすっていました。

アメリカ隊のスカウトは「難しかったが楽しかった。日本の伝統文化を感じることができてよかったし、日本のスカウトと一緒に活動ができてよかった。」と、笑顔で語っていました。日本人でもなかなか経験することのない流しそうめんをまさかジャンボリーでできるとは思いませんでした。

そうめんをただ食べるだけではなく、取るという部分加わることによって食事自体も楽しくなりますし、取るということをしなければ生まれないエピソードができたので楽しかったです。暑い日ではありましたが、ちょっとした涼を感じることができた昼になったのではないのでしょうか。

新潟1隊 江口恵輔

サターンとマーキュリーでのプログラム。サターンエリアではグラウンドゴルフをやり、マーキュリーエリアでは月面ロボットをやりました。天候が悪く楽しみにしていた海にはいることができなかつたけど、とてもたのしかったです。残りの日も全力で楽しみたいです。



静岡6隊 塩川莉緒



今日は朝から雨で、このままだと出来なくなると思いましたが、どうにか晴れて、無事にモジュールプログラムに参加出来ました。サターンエリアでは、ボルダリングをしました。友人が危なっかしく登っていましたが、楽しそうでした。また、ほかの隊の人といろいろなものを交換し、仲良くなったりしました。

そして、ジュピターエリアでは、丸太登りをし、意外と苦戦しました。スタートをミスし、しかも丸太がツルツルしていたらしく、4組中3位でした。

また、ドローンに会いました。急旋回したり、高くとびあがりして、とても面白かったです。

東京31隊 宮本瑛太



8月8日、ジュピターエリアにあるピローファイティングという競技を待っていたときとても綺麗な景色に出会いました。たくさん歩いて疲れていて、ふと上を見上げてみると空の薄い青い色と木の緑色が絶妙にあっていて、これまでの疲れや嫌だったことがすっくと体から抜けていったように感じました。

このことから、自然は人を癒すのだと改めて分かりました。皆さんも、疲れたりしたときには美しい自然を見てみてはどうでしょうか。

栃木3隊 高橋 誉英



今日は、朝から雨で少し予定が変更することもありましたが、無事に場内プログラムに参加することもできて良かったです！

神奈川14隊は、午前がアース、午後がヴィーナスエリアをまわりました。チームワークを必要とするキムスゲームやボールを使ったカーリング、竹とんぼを作るプログラムに参加しました。

インドネシアの隊員と一緒に参加してルールを英語で説明しながら楽しみました。インドネシアの隊員は竹とんぼをはやく、きれいに作っていて新たな一面を知ること出来ました。残りのプログラムも仲間と力を合わせ、ハプニングを乗り越えて楽しんでいきたいと思えます!!!

神奈川14隊 高田愛麻

ジャンボリーのなかびである八月七日、信仰奨励のプログラムが行われました。私は曹洞宗の仏教章を取得しているため、グラウンドゴルフ場で宗教についてたくさんのお話を復習することができました。実際にお話を聞いたり地元の住職さんの話を聞いて、宗教の奥深さや大切さを改めて感じることができました。

信仰奨励章はハヤブサ章取得のために必要なもので、スカウトはしっかり真剣に聞いていました。

また、集いの始まる前や終わった後などに違う地域のスカウトたちと交換品を使って交流を行いました。たくさんスカウトとたくさんコミュニケーションをとって笑いあえてとても楽しかったです。



神奈川19隊 柿下祥子



ジャンボリー中には、様々な隊との交流がありました。別の地域や、海外の国々とのバッジ交換、夜の時間帯に自分たちで時間を作って楽しんだ交流会などたくさんの活動がありました。私が所属する東京4隊文教第5団では、日中仲良くなったインドネシアの人と交流会を設定し、総勢42人で交流を深めました。

インドネシアのスカウトは英語を使用していて、コミュニケーションをとることは大変でしたが、身振り手振りを使ったインターネットを利用した翻訳機を使って会話しました。

東京4隊 赤坂陽

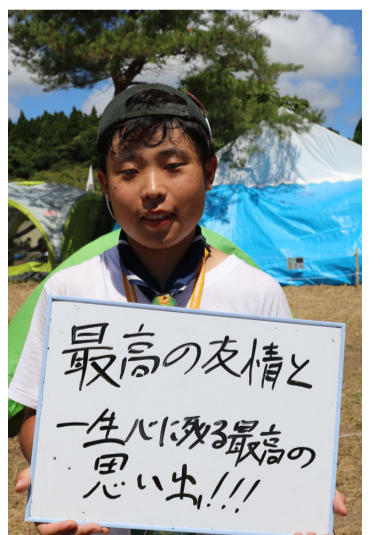
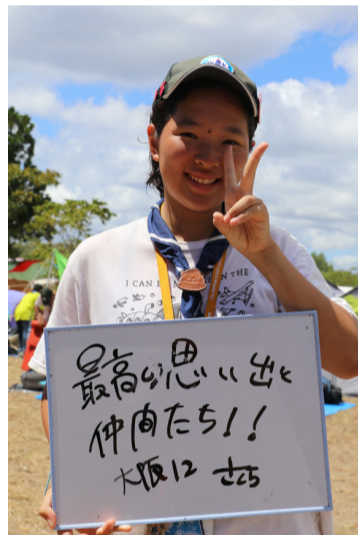
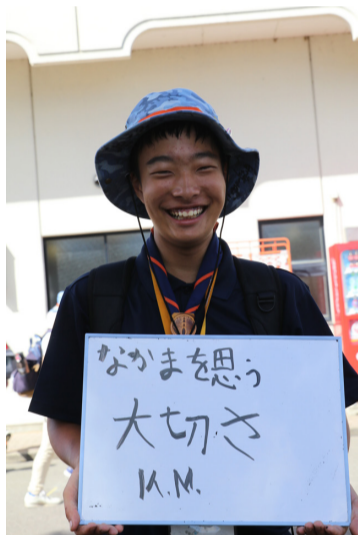
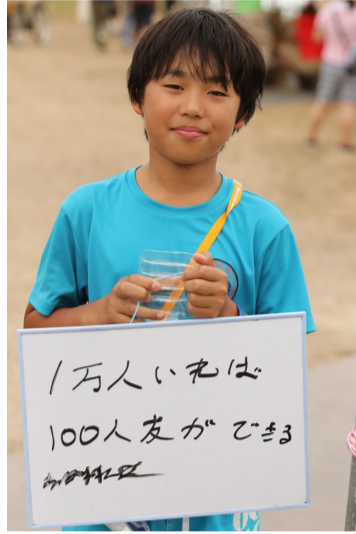


8月7日、ネパール隊の方たちと交流をしました。最初は何を話せばいいのか戸惑っていましたがネパール隊のかたからダンスを披露してもらいとても楽しい雰囲気になりました。慣れないネパール語で自己紹介をするととても喜んでもらえうれしかったです。普段出会うことのない方々と出会い、交流できることがボイスカウトの良さのひとつだと思っています。

栃木2隊 石戸暁

Jamboree Voice

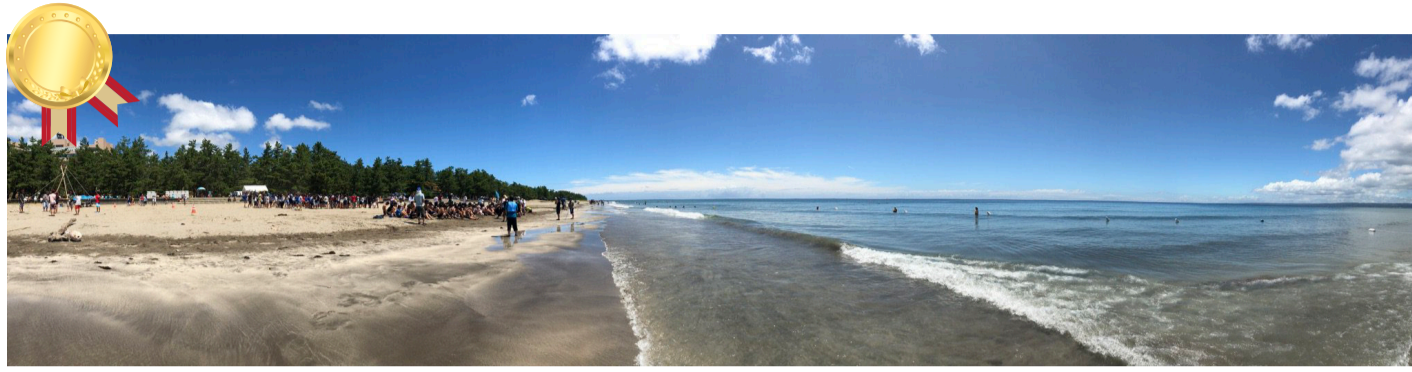
—今日のテーマ—
ジャンボリーで得られたもの



取材へのご協力、ありがとうございました。
あなたはたジャンボリーで何を得ましたか？



ジャンボリーフォトコンテスト📷 #17NSJフォトコン



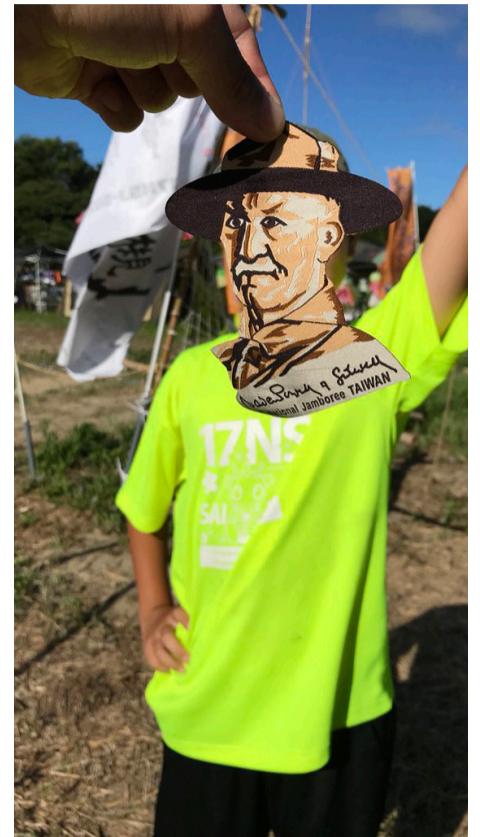
埼玉南派遣隊



あんな @ ボーイ垢



りょーた



水車シン



アウトドアな金坂



関口榮幸



ムトウシンタ

初日にて
既に売り切れ
目当て品
G14

雨水に
みんなの心
洗われる
しろうま班のぞみ



交流会
いつ始めるの
今でしょ
りーしゃん

星空に
包まれ眠る
ジャンボリー
水車シン

#17NSJ 川柳

じゃんぼりい川柳

#17NSJ 川柳

ジャンテンの
海をかきわけ
あの空へ
TERU

大集会
見知らぬ人と
肩を組む
17NSJ静岡9隊

スカウトの
響く歌声
能登の空
人工衛星FAN☆

帰ったら
ぼくと宿題
待つてるよ
U18カブ隊あまね

星達と
負けない数の
テントかな
マササ

▶ 17NSJ終了後もご覧頂けます！

17NSJ 期間中、広報部ではメディアセンターから YouTube でライブ番組を放送していました。アーカイブは、17NSJ 終了後も、ご覧頂けます。番組以外にもアリーナで行われる開会式・ジャンボリー大集会・閉会式の様子も、同じくご覧頂けます。

見逃した分や、自分が写っている場面を探すのも楽しいですね。広報部カメラマンは、いろいろなところからベスト映像を狙っていましたので、意外なところで写っているかもしれませんよ。



ジャンボリーフォトコンテスト📷

帰宅してからも、ジャンボリー期間中に投稿できなかった写真など、まだまだ投稿できます。

思い出写真を世界と共有しよう！

Twitter, Instagram, Facebook で、投稿専用ハッシュタグを付けて投稿するだけ！（投稿は「公開」に！）

【募集締め切り】 2018/8/17（金）まで

専用ハッシュタグ **#17NSJフォトコン**

じゃんぼりい川柳

ジャンボリーあるある、ジャンボリーでの思い出などを五・七・五で詠おう！こちらまだまだ募集中！

Twitter, Instagram, Facebook で、投稿専用ハッシュタグを付けて投稿するだけ！（投稿は「公開」に！）

【募集締め切り】 2018/8/17（金）まで

専用ハッシュタグ **#17NSJ川柳**

ジャンボリーフォトコンテスト・じゃんぼりい川柳は投稿者の名前とともにジャンボリー新聞・動画等で紹介させていただく場合があります。

思い出検索に、ハッシュタグを活用しよう

17NSJ 期間中使っていたハッシュタグ、目的に合わせて検索等に活用してください。

大会全般は

#17NSJ

交流会などの募集には

#17NSJ_Friendship

プログラム待ち時間の共有に

#17NSJ_WaitingTime

広報部への取材依頼をするには

#17NSJ_PR

スカウト通信員の投稿を見るには

#スカウト通信員



scout_association_of_japan



@ScoutingJapan



<https://www.facebook.com/scout.or.jp>

6号発刊予定

ジャンボリー期間中に載せきれなかった写真や取材記事、募集中のフォトコンテストや川柳など、事後号として盛りだくさんでお届けします。

お楽しみに！

Gold Sponsor

Canon



Yakult

Silver Sponsor

LIVEPHOTO
THE INTERNATIONAL AIR PHOTO INC.
国際航空写真株式会社

SONY



Official Supplier

オリオン電機株式会社

ブラックマジックデザイン株式会社

平和精機工業株式会社

北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)